

## 2025-2026 関根信行年度 第22回 通算2900例会

令和8年2月6日(木)  
2月第1例会

### 本日の例会

例会場 料亭ふな又  
点鐘 12:30  
テーマ 新会員イニシエーションスピーチ  
主管 会員増強・職業分類・選考委員秋  
・ロータリーソング 奉仕の理想  
・四つのテスト・ロータリーの目的  
中村 正 会員

次回例会案内  
令和8年2月12日(木)  
例会場 料亭ふな又  
点鐘 12:30  
テーマ 米山奨学生卓話

### 2025-2026年度 岩槻ロータリークラブ

会長 関根信行  
幹事 小林 篤  
会場出席・公共イメージ委員長 星 和彦  
例会場 ふな又  
例会日 木曜日  
点鐘 第1・第2 12:30  
第3 18:00

クラブ事務所  
さいたま市岩槻区本町 3-8-2-203  
TEL 048-758-0680  
FAX 048-758-0681  
MAIL info@iwatsuki-rotaryclub.jp



### 会長の時間

第63代会長 関根信行

皆さま、こんばんは。  
本日は、新入会員の卓話を受けて、私から“クラブのこれから”を少し語らせてください。  
まず、時事の話題から。年明け以降、生成AIやロボティクスが一段と身近になったというニュースが続いています。自治体の防災、教育、商店街の賑わいまで、使い道は広がる一方です。  
しかし、テクノロジーは“目的のための道具”であり、主役は人。ロータリーの奉仕は、人が集い、目的を共有し、合意して動く場です。だからこそ、私たちは「人間中心」にツールを選び、地域の力に変えていくこの姿勢を大切にしたいと思います。



さて、今日の新入会員の卓話。入会の動機、仕事と奉仕のつながり、岩槻への思い一言一言に、私たちが忘れかけていた“新鮮な問い”がありました。  
- なぜこの活動をやるのか。  
- 誰に届いているのか。  
- どんな変化を生んだのか。  
この問いがあるクラブは強い。外からの視点を歓迎し、改善に変えていくことで、私たちの奉仕は「続く力」になります。

ここで、ロータリーの最新トピックを短く二つ。  
行動計画のキーワードは「インパクト・参加の広がり・順応性」。参加のしやすさ、役割の見える化が、会員増強の質を高めます。  
ポリオ根絶は“継続が力”。認知と支援を地道に積み重ね、岩槻でも学校・医療・福祉との連携を具体化していきましょう。

Unite for good. よいことのために手を取り合ひましょう。新しい仲間の視点に背中を押してもらいながら、時代の変化を味方にする。岩槻のための具体的な一歩を、今日この場から始めていきたいと思ひます。本日もどうぞよろしくお願ひいたします。

### 幹事報告

幹事 小林 篤

- ・(株)クマヒラホールディングス会長熊平雅人氏(東京RC)氏より今年も「抜粋のつづり」届きました。
- ・地区より米山奨学生の次年度世話クラブ決定の通知。初期手続き・次年度米山奨学生(中国・男性)決定
- ・地区社会奉仕部門:3/11(水)防災セミナー案内
- ・台北国際大会:大会通信
- ・地区クラブ行動計画推進委員会:2/18オンラインクラブサポートミーティング案内
- ・ロータリー財団:地区財団活動資金の繰り越し制限について
- ・川口モーニングRC:創立40周年・第33回チャリティゴルフ大会案内(4/6プレステージC.C)
- ・岩槻東RCと大宮北東RCより2月の例会予定表、岩槻東より週報が届きました。



## 表彰

### ● R L I 卒業証 津多一幸 会員



## 委員会報告

### ゴルフ部

第3回ゴルフ部コンペのご案内です。

開催日は3月15日、会場は大麻生ゴルフ場となっております。

詳細はクラブ事務局より配信されるメールにてご確認ください。

すでにご返答をいただいている方もいらっしゃいますが、今回は新入会員候補の方々にも参加いただけるように調整しております。

ロータリアン以外の方も歓迎しており、会員増強の一環として興味をお持ちの方をお誘いいただければ幸いです。この方向で幹事とも話を進めておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

コンペ参加申込は、ゴルフ部駒澤部長・松永副部長小・池田副部長・星副部長・クラブ事務局までお願いします。

### 副部長 星 和彦



## お知らせ

- ・ 2月7日からインターアクトの青少年交換事業として韓国の高校生が1週間来日します。2月10日18時よりとんでん岩槻店において訪日団歓迎会開催。
- ・ 2月19日(木) 3クラブ合同例会  
参加クラブ：岩槻 RC、蓮田 RC、岩槻東 RC  
日時・場所：2月19日 18時より、ふな又にて開催。
- ・ 3月28日(土) IM ボウリング大会  
ボウリング参加希望者は幹事、事務局まで。
- ・ 4月17日(金) インターシティミーティング (IM)  
会場：シンフォニックルーズ。  
岩槻東 RC と合同でバスを利用して参加予定。

会員皆様、大勢のご参加を宜しくお願い申し上げます。

## 新会員イニシエーションスピーチ

### 会員増強・職業分類・選考委員長

### 鈴木真樹

本日は、私たちのクラブに加わってくださった会員による、イニシエーションスピーチを予定しております。

新しい仲間の思いや背景に触れることは、クラブの活動をより豊かにし、互いの理解を深める大切な機会でもあります。

能重裕介会員、よろしくお祈りいたします。



### 能重 裕介 会員

(2025年6月入会)



皆さま、こんにちは。

そして改めまして、本日は私の誕生日に際し、温かいお言葉をいただきまして、誠にありがとうございます。ちょうどこの時期にイニシエーションスピーチの機会を頂戴したことも、何かのご縁のように感じております。本日は、新会員として、私のこれまでの歩みや経験、そしてロータリーに対する思いを、少し長くなりますが皆さまにお話しさせていただきますしたいと思います。

### ■ 岩槻での誕生と幼少期のご縁

私は1986年2月11日生まれで、今年でちょうど40歳になります。生まれた場所は、ここ岩槻の駅前通りにあります岡田医院です。当時は産婦人科と婦人科を兼ねていたようですが、今は婦人科のみになっていると聞いています。両親からその日は雪が振っていたこと、午前2時半ごろに生まれたと聞かされてきました。体重は3,500g、丸々とした元気な赤ん坊だったそうです。

そして、私の隣のベッドには、小林利郎さんのお子さんが寝ていたそうです。利郎さんのご両親と私の両親は当時から親しくしており、私が生まれた瞬間からすでに家族ぐるみのつながりがあったわけです。40年経った今、こうして同じロータリークラブで活動していることを思うと、岩槻という土地がつないでくれたご縁の深さを強く感じます。

## ■ 5歳で千葉へ — 関宿町での生活

私の幼少期はずっと岩槻で過ごしたわけではありません。5歳のとき、家庭の事情により千葉県関宿町（現在の野田市）へ引っ越しました。父が購入した家の周辺は、当時まだ砂利道が多く、川の治水も十分ではありませんでした。大雨が降ると腰の高さまで水が溜まるような、なかなか厳しい環境でした。

一方で、関宿町には関宿城があり、城下町の面影が残る土地柄で、どこか岩槻と似た雰囲気も感じられました。私は小学校から中学校まで、この関宿町で過ごすことになりました。

## ■ 小学生～高校時代 — 多彩なスポーツ経験

小学生時代の私は好奇心のままに多くのスポーツへ挑戦しました。最初はレスリングを始めましたが1年ほどで区切りをつけ、続いてミニバスケットボール、さらにサッカー部へと移りました。「やってみたい」と思えばすぐ行動する性格だったのだと思います。そんな中で最も印象深いのは、小学6年生で務めた応援団長の経験です。多くの人の前に立ち、声を出し、仲間をまとめる役割は、後のリーダーシップや人前で話す力の基礎になりました。

中学では剣道部に入り、ここでの3年間の私の人格形成に大きな影響を与えました。礼節を重んじる剣道を通じて、人としての在り方を学び、キャプテンとして部をまとめる経験も得ました。高校生と共に稽古する厳しい環境で鍛えられたことは、今でも大切な財産です。

中学3年時には顧問の先生からスポーツクラスへの誘いを受けましたが、剣道一本で進む将来に不安を感じ辞退しました。その後、柔道部に入るも半年で退部し、自分の進む道を模索する時期でもありました。

## ■ 高校生活 — 富田会員との出会い・音楽

高校に入学すると、ここでまた大きなご縁が生まれます。富田会員との出会いです。私たちは同級生として出会い、そこから長い付き合いが始まりました。

高校生活の中で、私は次第に音楽にのめり込んでいきます。中学生の頃から趣味でバンド活動をしていましたが、高校ではより本格的に取り組むようになりました。富田さんの実家がある岩槻・飯塚で、よくバンド練習をさせてもらっていたことも、今では懐かしい思い出です。

そして高校2年生のとき、「音楽一本で生きていきたい」と強く思うようになり、修学旅行を終えたタイミングで通信制の立志舎高校へ転入しました。ちなみに同級生には後藤真希さんがいたそうですが、一度も会うことはありませんでした。

## ■ 音楽活動と就職活動 — 社長面接での学び

通信制高校に転入した後は、22歳前後のメンバーとバンド活動を続けました。しかし、1年ほど活動した頃、「このまま音楽で食べていけるのか」という不安が大きくなり、就職活動を始めます。

今でも忘れられないのが、越谷にある「東京宝石」という会社の面接です。社長自ら面接をしてくださり、最初に渡されたのは一本の鉛筆。「これを私に売ってみなさい」と言われました。必死にセールスしたのですが、結果は不採用。理由を尋ねると、「君はいくら稼ぎたいのか」という質問に対し、私が「15万円もらえれば十分です」と答えたことが原因だったそうです。

社長は「若者が未来に対してどれだけ意欲を持っているか」を見ていたのです。この経験は、今の私の経営者としての姿勢にもつながっています。私も面接で同じ質問をします。人がどれだけ未来

に向けて意欲を持っているかは、その人の可能性を測る大切な指標だと、あのとき社長が教えてくれました。

## ■ 音楽専門学校と新聞奨学生の実験

私は音楽の道を志し、サウンドコンポーザー科という、当時としては珍しい「パソコンで音楽を作る」学科に進学しました。

しかし、親からは「大学か普通科でなければ学費は出さない」と言われており、新聞奨学生制度を利用しての進学でした。

この制度は想像以上に過酷で、朝2時起床、3時から新聞配達、6時に終わって学校へ向かい、夕方は夕刊配達と集金。すべてが終わるのは19時頃で、また2時に起きる。これを一年間続けました。18歳の自分には厳しく、学業と仕事の両立に限界を感じ、専門学校は一年で退学しました。これが人生で初めての大きな挫折でした。

## ■ バンド活動とデビュー

地元に戻った後、バンドから声がかかり、21～22歳の頃にK-PLANというレーベルからデビューすることになりました。

同期にはback numberなどもおり、当時は「こんなバンド売れるわけない」と思っていたのですが、結果的に売れたのは彼らで、私たちのバンドは売れませんでした。

ただ、CDが売れにくい時代にもかかわらず、私たちのミニアルバムは1万枚を売り上げ、タワーレコードのデイリー1位、オリコン6位を記録しました。「これはいける」と思った矢先、人生は大きく方向転換することになります。

## ■ 結婚と長女の重い病气

当時の彼女（現在の妻）が妊娠し、22歳で結婚しました。私はバンドと職人の仕事を両立するつもりでしたが、妊娠6ヶ月の頃、胎児の心音に異常が見つかり、順天堂大学病院へ搬送されます。診断は「キアリ奇形Ⅲ型」。世界でも症例がほとんどない重い病気で、自発呼吸が難しくなる状態でした。私は「どんな状態でも受け入れる」と妻に伝えましたが、妻は深いショックを受け、そこから長い入院生活が始まりました。

## ■ 出産と一年以上の入院、在宅介護

出産は帝王切開。生まれてすぐに腫瘍の確認と気道確保の手術が行われ声帯を切開したため声は出ませんでした。入院は一年以上続き、少しずつ自発呼吸ができるようになり、ようやく自宅での介護が始まりました。

自宅では痰の吸引など医療的ケアが必要で、妻と二人で必死に向き合いました。

## ■ 年子で授かった命、長女との突然の別れ

その後、年子で新しい命を授かりました。しかし、家族・親族全員から「今は無理だから下ろすべきだ」と言われ、妻も同じ考えでした。私だけが「産むべきだ」と主張しました。

しかし妊娠から半年ほど経ったある日、現場で作業中に妻から「（長女の）心臓が止まっている」と連絡が入りました。急いで病院に駆けつけましたが、娘はすでに息を引き取っていました。最も辛かったのは、警察署で遺体を引



き取る瞬間でした。この経験は、私の価値観を根底から変えました。

### ■ 命と向き合った経験が教えてくれたこと

障害児の父として、命と向き合い、「正しさ」とは何かを深く考えるようになりました。

人はそれぞれ違う正しさを持っている。自分の正しさを押しつけるのではなく、相手の正しさを理解し、受け入れることが大切だと学びました。

ロータリーの「慈愛の精神」にも通じる考え方であり、今の私の行動指針になっています。

### ■ 起業と現在の事業

この経験を胸に、26歳で起業しました。倒産寸前の時期もありましたが、現在はプラントエンジニアリングと設備電気の会社として成長し、売上25億、社員50名規模の企業となりました。M&Aによる資本提携も行い、さらに発展を目指しています。

また、若い人材を育てるための施設「清月堂」を立ち上げ、飲食・美容・音楽・アパレルなど、夢を持つ若者が挑戦できる環境づくりにも取り組んでいます。

### ■ ロータリーへの思い

ロータリーに入会したのは、地域のために何ができるかを考えた結果です。岩槻をより良い街にし、子どもたちの未来をつくるために、皆さまと共に活動できることを誇りに思っています。

まだまだ未熟ではありますが、これからもご指導のほどよろしくお願いいたします。ありがとうございました。

## 例会進行 会場出席・公共イメージ委員会 四つのテスト・ロータリーの目的斉唱 SAA



星 和彦 委員長



田畑寛樹 副委員長



SAA中村 正 会員

## 2月の誕生祝い

11日 能重裕介 会員

18日 鈴木真樹 会員 おめでとうございます！



## スマイルBOX

小林 篤 本日は新会員卓話です。能重会員、よろしくお願い致します。

鈴木真樹 本日は会員増強によるイニシエーション・スピーチです。能重さん、宜しくお願い致します。

関根信行 本日、能重会員の卓話楽しみです。

田畑寛樹 親愛なる皆様、こんにちは。能重さん、イニシエーションスピーチよろしくお願い申し上げます。鈴木パスト、能重さん、お誕生日誠にありがとうございます。皆様、本日も何卒よろしくお願い申し上げます。

津多一幸 能重会員、卓話よろしくお願い致します！

富田友輔 本日もよろしくお願い致します。

中村 正 新会員卓話、宜しく！

能重裕介 本日もよろしくお願い致します。

星 和彦 新入会員さんのスピーチ楽しみにしています。よろしくお願い致します。

松永 豪 本日もよろしくお願い致します。

三浦宣之 能重さん、本日はよろしくお願い致します。

### 出席報告

会員数	出席数	免除者	MU	出席率
25	11		2	52.00%

### スマイル報告

本日のスマイル合計	15,000円
年間累計額	526,200円